

日本常民文化研究所 Web サイト リニューアル

サイトリニューアルの概要

平井 誠



写真1 日本語版ウェブサイトのトップページ

神奈川大学日本常民文化研究所は、2016年11月に、公式ウェブサイトを大幅に改訂し、公開した（写真1、<http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/>）。この改訂は、研究所の概要を示した『要覧』の改訂や、研究活動や様々なイベントなどを詳細に紹介する『年報』の発刊など、ここ数年にわたって行ってきた本研究所の情報発信体制の強化の一環として実施されたものである。

今回の改訂は、2014年度から検討が始まり、旧ウェブサイトに掲載していた情報の検討や用語の統一などを経て、2016年度に最終的なコンテンツ案の承認とサイトの構築を行った。このようにして完成した新しいサイトの主な特徴は以下の通りである。

1. 新たなコンテンツ管理システム（CMS）の導入。このことにより、セキュリティが強化されたのみでなく、情報の随時更新が可能となった。研究会の開催や研究成果の刊行など、タイムリーな情報発信が可能となった。

2. サイトの構成の大幅な見直し。旧ウェブサイトで掲載されていたコンテンツを「研究所紹介」「調査と研究」「所蔵資料・図書」「刊行物」「民具マンスリー」「講座と展示」の6つのカテゴリーに整理した。これらのカテゴリーはトップページ上部に掲載されており、ここからさらに詳細な情



写真2 CMSの導入により研究会等の開催情報・終了報告の迅速な情報発信が可能

報を閲覧することができる。サイト内の全ての情報に、トップページから2～3クリックで到達することが可能となり、利便性が高まった。

3. 情報検索・閲覧機能の強化。『神奈川大学デジタルアーカイブ』との連携により本研究所の刊行物や所蔵資料を検索できる。また、絵画資料デジタルコレクションによって「四季耕作子供遊戯図巻」「農具絵図」など絵画資料を画面上で閲覧することが可能となった。これらはトップページに配置されたバナーから利用することが可能であり、本研究所の研究成果や所蔵資料の閲覧を希望する利用者は、容易に検索できる。また、全体的に文字や写真の大きさ等にも配慮したデザインにより、可読性と視認性を向上させた。

随時更新が可能となったことで即時的な情報発信が可能となるとともに、絵画等のデジタル資料の閲覧や動画の活用なども可能となる。紙媒体の『要覧』『年報』と合わせ、インターネットの利点を活用した情報発信によって、本研究所の活動をより広く伝えることができるものと考えている。

さらに、2017年2月には、英語版のサイトも新規で制作され、公開された(写真4、<http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/en/>)。本研究所の活動を国際的に発信する上で重要なツールになると期待している。



写真3 絵画資料デジタルコレクション「四季耕作子供遊戯図巻」画面上で閲覧可能

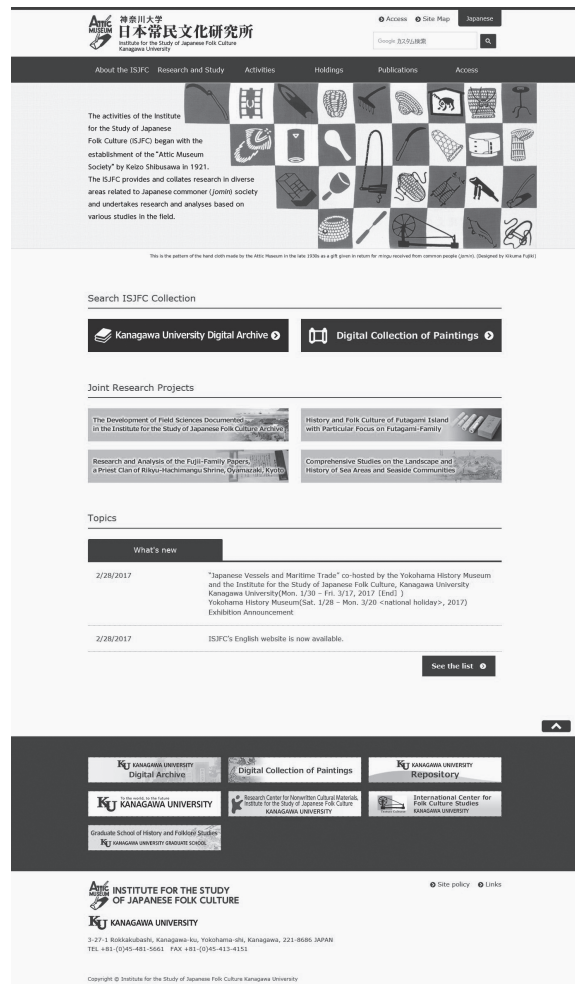


写真4 英語版ウェブサイトのトップページ